

明治45年6月25日十和田市で生まれる。99歳。20歳のときに結婚し、5人の子どもに恵まれる。農業を営み、裂織、編み物など趣味は多彩。現在やしやごがあり、5世代8人家族。沢田字長市在住。

健康が一番ね



▲毎日欠かさず書いている日記。写真右は娘婿が打ち直して冊子にしてくれたもの。大切に保管している



▲趣味のひとつ、広告を小さく折って作った置物。近くの保育所にカーネーションを約100束作り、贈っていたこともあった

1世紀近い人生を歩む長老は年齢を微塵も感じさせないほどに若い。色白の艶肌、はきはき話す口ぶり。「大きな病気はひとつもしたことはないの。病院の先生にびっくりされるのよ」2年前、作業中に転倒して以来、足が不自由なもの、それまで毎日農業を手伝い、草取りを行っていた。「やっぱり健康が一番ね」と朗らかに笑う。

実家は農業を営んでいたこともあり、仕事漬けの毎日だった。農業を教えたのは父親。指示されたことを忘れたことがあり、大目玉をくらった。そのことがきっかけで毎日日記を書くようになったという。「明日は種まき、この日は苗代。忘れないように書き留めておいた。今もまだ続けているの」と、差し出したのは使い終わったカレンダー。裏面に日にちごとに天気や行事などが簡単ではあるが、毎日欠かさず書かれていた。

現在は5世代が一緒に住む8人家族。元気なやしやごたちと毎日ケンカをしているという。「つい目に入って口うるさくしてしまうの。でも家族がいると賑やかだね」やしやごの名前を覚えられなくなったと話すが、肝っ玉母さんのしつけは健在。今は1日座って窓辺を眺め、庭の花や天気、人の流れを見ている。家族が帰ってくるとフジエさんの周りにはぎやかに。「病院の先生に会うたびに100歳まであと何日だって言われる。いつの間にか時が過ぎていくね」そのまなざしは昔を思う。自然と家族に囲まれて、100歳まであと少し。

第7回十和田市老人福祉大会のお知らせ

長年にわたり、社会に貢献して来られた高齢者のかたがたの長寿をお祝いします。

とき 9月28日(水) 午後1時

ところ 市民文化センター

内容 ▶式典

▶アトラクション (みきの保育園、市老人クラブ联合会ほか)

▶涙あり笑いありの介護講談

「ほっとけ!こころのアッパレ介護」

講師・田辺鶴瑛さん

※どなたでも参加できます。申し込みは不要です。問 高齢介護課 ☎⑥6720



広報とわだ 平成23年9月1日号 第107号

編集発行 十和田市総務部総務課

〒034-8615 十和田市西十二番町6番1号

☎0176⑥6702

「広報とわだ」は再生紙を使用しています。

「広報とわだ」バックナンバーはホームページをご覧ください。

十和田市ホームページ携帯サイトをみることができます

携帯電話でQRコードを読み取るか携帯サイトアドレスを直接入力してください。

携帯サイトアドレス <http://www.city.towada.lg.jp/m/>

